

新年度予算 多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会(委員長:山口雅夫、副委員長:塩塚敏郎)を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月11日から18日までの実質6日間で審査を行いました。

委員会では、庁舎整備、ごみ減量、夏休み児童預かりモデル事業、病児・病後児保育事業、不登校への対応など、多種多様な面から活発な議論が交わされました。

予算特別委員会における審査の結果については、委員長報告書にまとめ、3月22日の本会議において全ての予算議案及び条例議案を可決しました。

令和6年度における一般会計予算の総額は606億円となりました。

予算特別委員会の主な意見・要望

◆新庁舎の建設

これまで積み上げてきた議論や現庁舎の耐震性が不足していることを踏まえ、市民や職員の安全のためにも、現行のスケジュールよりも可能な限り早期に事業を実施してほしい。

◆まちの魅力アップと市内外へのプロモーション

テレビ離れが進み、雑誌市場も縮小していることから、時代の流れに即した成果指標の設定を検討してほしい。

◆財政運営

市民の暮らしや厳しい事業運営を行う小規模事業者の支援につながるよう、住民福祉の増進に寄与するよう努めてほしい。

また、政府に対し、子育て支援の財源確保や地方交付税の増額を要望してほしい。

◆子育て世帯住宅改修支援事業

県や関係部局との連携による周知に努めるなど、子育て支援の充実につながるよう取り組んでほしい。

◆ハートフルスクールプロジェクト

1人1人の子供に丁寧に向き合う必要があることから、学習指導員の十分な配置と時間の確保に努めてほしい。

◆製品プラスチックのリサイクル

周知不足により回収が十分に行われていないことから、さらなる周知啓発を行い、より一層のごみの減量化・資源化に努めてほしい。

◆夏休み児童預かりモデル事業

実施施設の卒園児の利用が多い状況にあることから、実施施設・事業所の拡大に取り組んでほしい。また、夏休みの実施だけではなく、春休みや冬休み等への拡大も検討してほしい。

◆市立図書館の運営

人口類似団体と比較して、図書購入費、蔵書数、貸出登録者数などとの関係性がうかがえることから、利用者の増加に向けた検証を行い、使い勝手のよい図書館づくりをしてほしい。

◆水道事業経営戦略

市民に安全かつ安定的に低廉な水を供給するという視点に立ち、水道料金の値上げとまらないよう取り組んでほしい。

◆ともだちや絵本美術館の管理運営

現在委託を受けている業者のノウハウや企画力などを市として継承しつつ、今後の動物園・ともだちや絵本美術館における管理業務の在り方を検討してほしい。



ともだちや絵本美術館

◆居宅介護サービス事業

報酬改定による報酬引き下げに加え、ヘルパーの高齢化などにより、事業者の経営が厳しい状況であることから、事業者の状況を把握し、市独自の支援制度の創設などを検討してほしい。